

ひろさき 市議会だより

令和7年3月発行

第81号

12月定例会・議案など	2
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の一般行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和6年10月4日から令和6年12月26日までの出来事を掲載しました。



タイトル：早春の雪原を疾走
撮影者：清藤昌丈さん

表紙写真について、令和6年7月11日から令和7年1月10日までの期間で、4名の方から5点の写真のご応募がありました。ご応募いただきありがとうございました。表紙写真募集の次回の締切は令和7年7月10日(木)です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

「中心商店街」再生に向けた具体的施策推進に関する要望書を市へ提出

令和6年第4回定例会最終日の12月24日(火)本会議終了後、尾崎 寿一議長、工藤 光志副議長、5会派の代表者（蒔苗 博英議員、坂本 崇議員、竹内 博之議員、千葉 浩規議員、佐藤 哲議員）が、「中心商店街」再生に向けた具体的施策推進に関する要望書を市へ提出しました。

「中心商店街」の再生等による中心市街地の活性化は、市民生活の利便性向上や地域の魅力発信につながり、交流人口の拡大や固定資産税収の増加など、市全体の発展に直結するものであり、市議会では、市が民間事業者を含めた関係機関と連携し、第3期中心市街地活性化基本計画を速やかに策定するとともに、具体的な施策を推進するよう要望しました。



12月24日に市長へ要望書を手渡しました

令和6年第4回定例会

市長提出議案 29件

12月補正後の令和6年度予算

一般会計	931億1976万円
(12月補正額)	48億1102万4千円)
特別会計	443億9383万5千円
(12月補正額)	8999万円)

●事件処分の報告及び承認について(事件処分第6号)

【令和6年度弘前市一般会計補正予算(第5号)】

令和6年10月の第50回衆議院議員総選挙の実施に伴い、衆議院議員選挙に係る経費を計上することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

補正額 1億787万6千円

●令和6年度弘前市一般会計補正予算(第6号)

中学生の自転車用ヘルメット購入に対する補助金などを計上するほか、障害者総合支援法等関係事業に係る経費や認定こども園等給付費などを追加するものです。

また、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額 22億5056万6千円

●令和6年度弘前市一般会計補正予算(第7号)

新陳代謝・給与改定等に伴う報酬・給料・職員手当等の人件費を追加するものです。

補正額 9億4542万2千円

●令和6年度弘前市一般会計補正予算(第8号)

物価高騰の影響を受けている市民生活への支援として、低所得世帯に対する給付金及び県産米等の購入に使用できる商品券の配付に係る経費を計上するものです。

また、物価高騰生活支援臨時給付金給付事業などに係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 15億716万円

弘前お米とくらし応援券の第一弾は、令和6年12月13日時点で利用率85.9%、金額にして約4億1000万円分が利用されていると、理事者から実績についての説明がありました。

第二弾も前回と同様、県産米の購入と併せて、その他の食品や生活用品の購入に利用できる予定です。

議員提出議案 1件

規則の改正

○弘前市議会会議規則の一部を改正する規則案

会議時間に係る規定の見直しを行うなど、所要の改正をしようとするものです。

陳情 3件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

○令和7年度私立幼稚園助成に関する陳情書

○『弘前ねぶたコンテスト審査基準』『弘前ねぶた保存基準』の撤廃を求める陳情書

○臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

【会期：令和6年11月29日(金)～12月24日(火)】

補正予算(第6号)から一部の事業をご紹介します

◇弘南鉄道安全輸送設備等整備特別対策事業費補助金
(事業費：2004万6千円)

安全輸送に必要な修繕費に対する補助

【交付先】弘南鉄道株式会社

【交付額】国の改善指示に対応したポイントレール交換等補修工事に要する経費

本事業については、予算決算常任委員会の審議過程において、委員4名から理事者に対し質疑が行われました。理事者からは、本補助金は、国の改善指示に対応した安全輸送上必要不可欠なポイントレールの交換工事や、レールの前後左右の歪みを補正する軌道補正、ホーム改修などの経費に充てられる等といった答弁がありました。

補正予算(第8号)から一部の事業をご紹介します

◇第二弾！弘前お米とくらし応援券配布事業

(事業費：5億6907万7千円)

県産米等の購入に使用できる商品券を配布

【対象者】令和7年1月1日に住民基本台帳に登録がある市民

【配布物】1人当たり3千円の商品券

審議過程において、第二弾を行うに至った経緯等に関する議員からの質問に対し、理事者からは、生活者にとって家計の負担感が大きい状況が続いているため、市民生活を守ることを最優先に、生活者支援のための事業を検討したとの答弁がありました。

また、第一弾に引き続き、物価高騰の影響を受けている市民の家計負担の軽減を図るとともに、お米を美味しく食べてもらうことで、生産者の応援につなげていくため、本事業を実施することとしたとの理事者の答弁がありました。



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん お米バージョン

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>

[gikai/index.html](http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html)

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は
こちらでご覧いただけます。



一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



工藤 裕介
(弘前さくら未来)



岩木山の観光・周辺環境整備の取組について

問 福島県の安達太良山で取り組まれている「山印」を、市でも作製・導入し、環境整備に収益を活用する考えがないか。

答 神社や寺院において、参拝の証明として押印される「御朱印」のように、山への登頂を記念し、証明する「山印」は、地域の民間企業や観光関連団体等が、それぞれに工夫を凝らして作製し、販売さ

れている。その販売収益の一部を、登山道整備や山小屋整備などに活用している事例も見受けられ、山地の観光振興や環境整備に係る方策として、有益なものであると認識している。市としては、このような取組の好事例について、岩木山の清掃活動である「岩木山エコプロジェクト」を継続的に実施している岩木山観光協会や、岩木山観光関連団体等への積極的な情報提供に努めてまいりたい。



志村 洋子
(創和・公明)



医療的ケア児及びその保護者への支援

問 レスパイト事業について伺う。

答 医療的ケア児に対する支援制度の充実はもとより、保護者等の心身の健康を維持することが大変重要で、保護者等が一時的に休息できるよう支援する、いわゆるレスパイトケアが必要であると認識している。具体的なサービスについては、自宅へ看護師が訪問し、医療的ケアの実施や育児相談、保護者に代わって見守り

を行う「訪問看護」、事業所へ通所し、必要な訓練や支援を受けている間に、保護者の休息や息抜きの時間が確保できる「放課後等デイサービス」や「児童発達支援」のほか、一時的な休息等を目的とするサービスとして、施設への「短期入所」や「日中一時支援」等がある。

〈その他の質問項目〉

○重層的支援体制整備事業 ○弘前市の防犯対策 ○弘前市の少子化対策



野村 太郎
(無所属(東雲))



弘南鉄道について

問 11月27日の弘前圏域定住自立圏公共交通維持活性化市町村長会議で、会社側から大鰐線の運行継続を断念する旨の発表がなされたことに関し、市の考えは。

答 これまでの経緯と人員不足等の将来見通しの厳しさを考慮すると会社としてはやむを得ない判断であったものと重く受け止めている。休止時期や代替交通の確保について、国や県と連携しスピード

感を持って関係者との協議を進めていく。

市内のスキー場について

問 令和5年度の利用状況等を問う。

答 市内小学校のスキー教室は、岩木山百沢スキー場が25校、延べ2,464人、そうまロマンピアスキー場が4校、延べ1,310人。岩木山百沢スキー場のスキー競技団体の利用について、市内チーム全9団体が大会を想定しコース上にポールを設置した練習を平日に毎日行っている。



成田 大介
(弘前さくら未来)



身寄りのない高齢者への対策について

問 市の方針を伺う。

答 当市の高齢化率は、推計で2040年に40%を超えると見込んでいる。社会環境の変化を踏まえ、包括的な相談・調整窓口の整備を行うこととし、高齢者が安心して暮らせることはもちろん、全市民が尊厳のある本人らしい生活を継続するため、地域共生社会の実現に努めていく。

性的マイノリティに関する取組について

問 制度拡充について伺う。

答 届出により、市が発行するパートナーシップ宣誓書受領証に子供や親の氏名を記載し、関係性を証明するファミリーシップを新たに導入した。また、宣誓要件の一つである住所要件を見直し、双方が市内在住もしくは3か月以内に市内へ転入予定が要件だったものをいずれか一方が市内在住もしくは3か月以内に市内へ転入予定であれば宣誓可能とした。



松橋 武史
(櫻鳴会)



「SASUKE」の誘致・設置について

問 「SASUKE」を基に考案された障害物レースが2028年ロサンゼルスオリンピックの近代五種競技で採用される。施設の誘致・設置に関する市の考えは。

答 いわゆる障害物レースであるオプスタクルスポーツは、競技として歴史が短く他競技に比べ認知度も低いため市民の気運醸成が最も重要。動向を注視したい。

小中学生の薬物等使用の実態について

問 喫煙、飲酒、薬物乱用等の実態は。

答 市立小中学校で指導された人数は、小学校は過去3年間実績なし。中学生は令和3年度は喫煙1名、飲酒4名、薬物乱用2名。令和4年度は喫煙5名、飲酒7名、薬物乱用2名。令和5年度は飲酒と薬物乱用が各1名。薬物乱用はいずれも過剰摂取等薬物の使用に関わる不適切な使用で覚醒剤や大麻等の使用ではない。10年ほど前と比較し、人数は大幅に減少。



木村 隆洋
(創和・公明)



当市の文化財の利活用について

問 市の見解を伺う。

答 当市は文化財建造物について種類の豊富さと指定件数の多さで、歴史的風致を感じられる都市として知られている。市が管理する弘前城天守、旧第五十九銀行本店本館等は歴史的価値を損なわない範囲で公開し、催事場として貸出ししている。旧東奥義塾外人教師館や旧第八師団長官舎等はレトロな雰囲気を活かし、

飲食店として活用しているほか、歴史的風致形成建造物である旧紺屋町消防屯所は津軽塗技術保存会の伝承活動の拠点とするなど幅広い活用を図っている。今後も市民に愛される施設として、また、訪れる方々にその価値や魅力を伝えられるようさらなる活用の推進に努めていく。

〈その他の質問項目〉○弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針について ○弘南鉄道大鰐線について



千葉 浩規
(日本共産党)



災害時のペットとの避難について

問 避難所及び仮設住宅での被災動物の受入れに関する防災計画での記載状況は。指定避難所でのペットとの避難受入れの決定状況について答えよ。

答 令和元年度に修正した弘前市地域防災計画において、災害時のペット対策や指定避難所などでのペットの受入れに関する事項を記載した。また、令和3年3月に、避難所でペットを飼育管理するな

ど、ペットと同じ場所で避難生活を送ることができる、いわゆる同伴避難ができる避難所を40か所選定している。ペットの飼育場所は各避難所の屋外の駐車場を基本とし、飼い主が持参したケージやキャリーバックなどを利用して飼育する。

〈その他の質問項目〉○水害対策について (市街地浸水対策、腰巻川の河川改修) ○下水道事業における官民連携手法について ○マイナ保険証について



工藤 賢生
(奏望会)



地域計画の策定に向けた進捗状況と今後

問 地域農業の在り方を示す地域計画の策定に向けた市の見解を伺う。

答 今年度、計画策定のための協議の場で地域農業の将来方針案と農業委員会が作成した現況地図・目標地図の素案を示し、地域の農業者等と話し合いを実施。今後、市内10地区で開催する集落座談会で協議の場の意見を反映した地域計画案を説明し、関係機関への意見聴取、公

告・縦覧を経て、令和7年3月中に各地区の地域計画を策定する予定としている。

農業施設の計画的更新について

問 限られた予算での計画的な施設機能の管理が問われるところだが市の見解は。

答 農業生産を行う上で重要な基幹的農業用施設の長寿命化のため、今後も直営パトロールや業務委託による点検に努め、有利な財源を活用した計画的な更新工事等により農業用施設の機能保全に努める。



石岡 千鶴子
(無所属(りんごの会))



宿泊税について

問 導入に向けた事務の状況について。

答 9月の宿泊税検討委員会からの答申書に「様々な効果と課題を引き続き整理し、十分な検討を加えながら拙速な導入とならないよう対応する必要がある」との意見が付された。今後も、宿泊事業者をはじめ市民に丁寧な説明に努める。

弘前市役所における障がい者雇用について

問 雇用の状況や、採用試験の実施状況、障がいのある職員に対する取組状況は。

答 令和6年6月1日時点で市長部局と上下水道部は法定雇用率を下回っている。過去6年間で障がいのある方を20人採用。法定雇用率の達成に向け新規採用を継続する一方、障がいのある職員が安心して働くことができる職場環境づくりに向け、障がい者雇用支援チーム制度を導入するなど、支援体制の整備に取り組んでいる。



佐藤 哲
(櫻鳴会)



名誉市民について

問 当市の名誉市民の状況や当市にゆかりがあり、活躍されている方を名誉市民として顕彰することに対する市の考えは。

答 名誉市民は当市に縁故が深く、社会の発展及び文化の興隆に貢献し、その功績が著しく、市民から深く尊敬されている方に称号を贈り顕彰する制度である。旧弘前市では花田勝治氏、奈良岡正夫氏、工藤甲人氏、古川武治氏が、旧岩木町で

は鳴海弥一郎氏が、旧相馬村では山田信男氏などが顕彰されている。また、市町村合併後は佐野ぬい氏が顕彰されているが、存命の名誉市民は現在、不在である。当市に縁故の深い方が国内外において様々な分野で活躍されており、市としては、様々な状況を勘案し検討していく。

〈その他の質問項目〉

○土砂災害警戒区域 ○放任園対策の現状 ○モモシクイガ防除への対応



樋川 篤子
(弘前さくら未来)



不登校対策について

問 不登校の未然防止と初期対応の手段としての心の健康観察アプリに関し伺う。

答 令和7年度から市立全小中学校へ心の健康観察アプリの導入を検討している。教師やスクールカウンセラー等へ相談希望できるSOSボタン等の機能を搭載。

特別支援教育等の支援体制について

問 特別支援学級に通う児童生徒数の過去5年間の推移等について伺う。

答 市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒数は、小学校が令和2年度の290人から令和6年度は約2倍の570人、中学校が令和2年度の91人から令和6年度は約1.8倍の162人にいずれも増加。

学校図書について

問 学校図書館整備事業について伺う。

答 教育委員会で今後も学校司書を効果的に配置すべく研究を続け、担当教員の負担軽減や児童生徒の利用促進に努める。



須藤 江利加
(日本共産党)



灯油購入費の助成について

問 助成を直ちに行うべきと考えるが市の考えを伺う。

答 国の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」では、低所得者世帯向けの給付金、地域の実情に応じた物価高対策を後押しする「重点支援地方交付金」など総合的な対応を講じるほか、冬期の電気・ガス代を支援する時限的措置や地方自治体が行う生活困窮者

への灯油購入費の助成等に必要な経費について、特別交付税措置を講じることとしている。市としては、灯油購入費の助成は多額の費用を要し、国の補正予算案の詳細も不明なため、必要な経済対策を検討した上で、県内の灯油価格状況も注視しながら総合的に判断していく。

〈その他の質問項目〉

○身寄りのない高齢者支援 ○国民健康保険 ○市民サービスの向上



竹内 博之
(弘前さくら未来)



歴史的建造物を活用した県内初の分散型ホテル構想について

問 計画の具体的な進捗を問う。

答 候補物件について、定期的に利用している市民や団体が数多くあること等が確認されたことから、関係機関と協議の上、事業の開始時期などを判断していく。

学校スキー授業の教育的価値と保護者負担のバランスを考えた持続可能な在り方

問 市の見解を伺う。

答 保護者の経済的負担がある声は伺っており、今後も負担軽減の上、児童が安全安心にスキー学習に取り組むことができるよう学校を支援していく。

弘南鉄道株式会社の今後について

問 鉄道施設撤去等への市の見解を伺う。

答 中央弘前駅、山道町樋の口町線の整備については、3,100平方メートルから1,800平方メートルに変更、縮小して整備したことで、無駄な支出は避けられた。



蛸名 正樹
(創和・公明)



にぎわいと活気あるまちづくり施策

問 新たな中心市街地活性化基本計画の現状などについて伺う。

答 中心市街地の空き店舗が増加傾向にあるなど、活力が低下し厳しい状況にあると認識している。現状や課題を踏まえ、第3期の基本計画は、中心市街地活性化ビジョンの計画期間である令和8年度末までの国の認定を目指し、令和7年度中の素案の完成を目標に作業を進めている。

森林資源の保全と活用について

問 今後どのように取り組んでいくのか。

答 地産材としての積極的な利活用が林産業の振興と地域活性化につながるため、県と情報共有しながら効果的な啓発活動の検討を進めている。市では、県や関係機関等と連携を図り、森林の適正な管理・保全と木材の利用促進に努めていく。

〈その他の質問項目〉

○防災・災害対策 ○保護猫などに対する市の取組状況

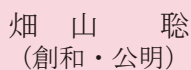
令和6年第4回定例会日程 (26日間) ○傍聴者の数：29人

11月29日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月16日(月) 常任委員会	経済文教、建設、総務、厚生
11月30日(土)～12月9日(月)	議案熟考	12月17日(火) 常任委員会	予算決算
12月10日(火)～12月12日(木)		12月18日(水)～12月23日(月)	議事整理
本会議	一般質問	12月24日(火) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
12月13日(金) 本会議	一般質問、議案付託		

令和6年は延べ**159人**が傍聴しました。
日程をご確認の上、お気軽にお越しください。

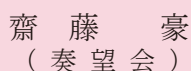
弘前市マスコットキャラクター
たか丸くんSDGsバージョン





答 大鰐線の運行を休止する時期については、国に相談しながら弘南鉄道株式会社及び大鰐町と協議していくこととして

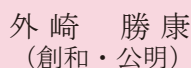
おり、現時点では具体的な時期は決ま
っていない。仮に、会社の意向である令和
9年度末となる場合、これまでの維持活
性化という基本方針から、令和8年度以
降は、休止までの大鰐線の運行に必要な
行政支援に変わるものと見込んでいる。
その支援内容については、これまでと同
様に弘南線の運行に影響がなく、大鰐線
を安全運行するために必要な内容を精査
しなければならないものと考えている。



答 新規就農者の育成について、農業里親研修の実施や「新規就農者こみゅねっとわ〜く」の開催、基礎的な知識や技術を学ぶ「ひろさきスタートアップの塾」等を実施し、近年、新規就農者は雇用就農も含め50人前後で推移。補助労働力の確保対策では農福連携、1日農業バイトアプリ「daywork」の運用や市

職員の兼業、官民連携での援農ボランティアツアーの実施等を行った。こうした取組により第1回「JR東日本地域共創アワード」で最優秀賞、「ノウフク・アワード2024」では自治体で初となる優秀賞、「令和6年度地方創生応援税制大臣表彰」受賞や「ディスカバー農山漁村の宝アワード」で優秀賞となった。

○弘前市友好都市交流について



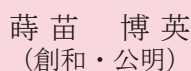
答 令和4年度の「空き家等実態調査」による空き家等の件数は2,546件、うち老朽化等により利活用が困難なものが441件で、そのうち87件が管理不全により近隣に影響を及ぼす状態となっている。

【答】 今後、実施することなどを検討する。

問 HPVワクチン（キャッチアップ）接種対象者、接種率と副反応について。

答 対象者7,107人で10月末での接種率は1回目接種終了者が71.7%、2回目が59.0%、3回目を終えた接種完了者が47.7%。重篤な副反応の報告もない状況。

答 定期接種化された場合には関係機関と連携し、円滑な接種を実施していく。



答 りんご放任園が解消された面積は、着手中のものも含めて約12ヘクタールとなっており、年度内の目標であり、昨年の解消面積の10倍となる15ヘクタールの放任園の解消に向けて、取組を続けているところである。結実確保対策としては、マメコバチによる受粉に頼らず、園地内

答 スクールサポートスタッフ配置事業は、令和6年度から全小中学校を対象とした事業へと拡充したが、11月末現在で配置済みが31校、未配置が16校と、未配置が解消されておらず、制度運用の見直しを県教育委員会に要望している。

議案は、○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

[illegible]



坂本 崇
(奏望会)



高齢者の居場所づくりについて

問 市の取組を伺う。

答 市では高齢者の孤立や閉じ籠もり等を防止し、積極的に社会参加を促すことを目的に「高齢者ふれあい居場所づくり事業」を実施している。個人の自宅や地域の集会所、市公共施設等で行われており、活動内容は茶話会や体操、合唱、多世代交流を目的としたレクリエーション等気軽に参加しやすいものとなっている。

デジタルディバイド対策について

問 市の考えを伺う。

答 あらゆる分野でデジタル化が進展していく中において、誰もがデジタル技術の恩恵を受けられる社会にしていくために、市民にとって身近な行政サービスを提供する市の役割は、より重要になってくるものと認識している。市民ニーズを的確に把握し、行政サービスの向上に向け、デジタル化の推進に取り組んでいく。



三浦 行
(日本共産党)



宿泊税について

問 今後のスケジュールは。

答 弘前市宿泊税条例案のパブリックコメントを経て令和7年第1回定例会に当該条例案を提出し議決となった場合は、制度の円滑な導入に向けた周知に努める。

自殺対策について

問 市の取組を伺う。

答 生きる支援事業を各分野で実施しており、心の健康相談では、令和5年度に

延べ144件の相談が寄せられ、年々増加傾向。また、市職員の研修や看護学生等の実習としてゲートキーパー養成講座を実施し、心の悩みを持つ人への理解を深め、自殺予防の意識を高めているほか、企業や地域の団体等に対し、出前講座として心の健康講座を実施している。

〈その他の質問項目〉

○文化こうりゅう事業について ○学校給食について ○中心街の活性化の取組



竹浪 敦
(創和・公明)



弘前市と弘前大学との今後の在り方

問 弘前大学の存在意義を市としてどのように考えているのか。

答 弘前大学は、その特色を最大限に活かし、地域との連携を進め、課題の解決や人材の育成に取り組むなど、地域社会に大きく貢献しており、その存在意義は非常に大きいものであると認識している。

藤代公民館について

問 地域の方による改築の要望もある中

で、地域活動の拠点としての藤代公民館の今後をどのように考えているのか。

答 教育委員会としては、他の地区公民館の老朽度も踏まえながら、今後、具体的な施設の在り方を検討し、人口減少が進む中、10年、20年後も地域の方が利用しやすい地区公民館を目指して、地域住民や町会等に求められる機能や方向性を丁寧に聞き、その思いに寄り添った形で協議を進めていきたいと考えている。



石山 敬
(創和・公明)



事業承継支援について

問 事業承継は全国的に重要な課題となっているが、本市における取組を伺う。

答 市では、引き続き、市内中小事業者に対する事業承継の普及啓発活動を進めながら、国や県、金融機関、専門家など、関係機関等と緊密な連携を図り、事業承継問題の解決に向けて取り組んでいく。

農村地域の維持・活性化について

問 現代の農村の維持には、課題に対し

多面的かつ柔軟な対応が求められている。維持・活性化について、市の考えは。

答 近年、国や県により、農地の保全などの活動だけではなく、生活支援等のコミュニティ維持に資する活動を行う農村型地域運営組織、いわゆる農村RMOの取組に対しても支援措置が講じられているところである。市では、農地保全活動や地域維持に資する取組を支援していく。

〈その他の質問項目〉○農福連携

議長（尾崎寿一）は採決に加わっていません。

木村	千葉	野村	外崎	尾崎	蒔苗	松橋	石岡	三上	佐藤	工藤	清野	田中
隆洋	浩規	太郎	勝康	寿一	博英	武史	千鶴子	秋雄	哲	光志	一榮	元
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年第4回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。

市長提出議案：29件

予算関係：14件、条例関係：7件、その他：8件

議員提出議案：1件

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

会派一般行政視察

弘前さくら未来・無所属議員（弘心 工藤光志）

10月21日（月）～23日（水）

①宮城県石巻市

○教育改革の取組について

②富山県富山市

○ゼロカーボンシティの取組について

③長野県長野市

○スマートシティNAGANO構想について



石巻市にて

日本共産党

11月11日（月）～13日（水）

①福岡県大牟田市

○防災情報収集システム構築とリアルタイム情報配信事業について

②福岡県久留米市

○自殺対策について



久留米市にて

委員会行政視察

議会改革特別委員会

11月18日（月）～19日（火）

①群馬県太田市

○議会改革に関する取組について

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより編集特別委員会

10月29日（火） 市役所

①掲載内容について

12月24日（火） 市役所

①掲載内容について

②編集日程について

議会改革特別委員会

10月31日（木） 市役所

①報酬及び費用弁償等に関する
ことについて

②議会及び常任委員会の機能強化
に関することについて

③次の委員会の開催日について

12月24日（火） 市役所

①行政視察の総括について

②報酬及び費用弁償等に関する
ことについて

③議会及び常任委員会の機能強化
に関することについて

④一般質問に関することについて

⑤正副議長に関することについて

⑥次の委員会の開催日について

建設常任委員会

弘前商工会議所建設部会員との意見交換会

11月5日（火） 弘前パークホテル

①勉強会

国土交通省による老朽商業施設等の除去
支援策について

②意見交換会



商工会議所建設部会員との
意見交換会の様子

経済文教常任委員会

弘前商工会議所青年部との懇談会

11月29日（金） 弘前商工会議所

①弘前商工会議所青年部からの話題提供に
ついて

②経済文教常任委員会からの質問等につ
いて



商工会議所青年部との
懇談会の様子

表紙の写真大募集!!

◎テーマ 弘前市内で撮影された写真
（風景・まつり・イベントなど）

◎規格 デジタル写真データ
（JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ）

◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方

◎応募方法 写真のタイトル（10文字以内）・撮影場
所・撮影日・住所・氏名・電話番号を
明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表
紙写真」と入力してください。

◎締め切り 締め切りは令和7年7月10日（木）です。
また、応募写真が必ずしも採用される
とは限りません。

◎掲載時期 令和7年9月発行予定の第83号

QRコードを読み取るとメールの作成画面
が開き、簡単に応募することができます！



【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会（本会議、委員会など）は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程（予定）

（2月14日（金） 議会運営委員会 会期日程等の協議）

2月21日（金） 開会日（本会議） 開会、会期の決定、
提案理由の説明

3月21日（金） 閉会日（本会議） 各委員長の報告、質疑
討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。